

File 5 - 7: 自然環境との共生を理解するプログラム >>>>>>> 工場の敷地中の自然を体験してみよう

サンデンフォレスト「森の教室」(所要時間30分)



・ビデオとパワーポイントを利用した説明を受ける。
 【講話】自然と強制するサンデンフォレストについて
 (環境保全活動の実施・環境に配慮した生産工程の工夫、サンデンフォレスト内で見られる自然など。)
 (ねらい) 自然と共生する工場のあり方を知ルことを通して、
 人の手によって自然の多様性を豊かにすることができることを理解できるようになる。

移動

「どんぐり広場」(所要時間40分)



【ネイチャーゲーム】
 フィールドビンゴなど
 (ねらい)
 遊びを通して自然と親しむ。

「大林沼への林間」(所要時間45分)



サワガニや木の実、キノコの収穫をする。
 (ねらい)
 自然環境と動植物の関わりを理解する。

移動

【観察】シメジ・ヤマグリ・
 ドングリ・ホオズキなど。

「大林沼」(所要時間30分)

野鳥の観察を行う。



【講話】観察の仕方・観察生物の説明など。
 (ねらい) 自然環境と動物の関わりを理解する。

【観察できる生き物】
 アオサギ、カワウ、マガモ、
 コガモ、カルガモ、カイツブリなどの水鳥。

指導体制：指導者1名、指導助手4名 に対し **対象人数**：25～30名

準備：ビデオテープ、プロジェクター、教室

留意点：サワガニの確保、持ち帰り数の制限及び飼育方法を考える。

プログラムの関連性：

小学校学習指導要領

生活科 内容(5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

(6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに関心を持ち、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。